

PRESS RELEASE
報道関係各位

2023 年 6 月 8 日

セゾン情報システムズ データサイエンティスト育成支援の経過公表 ～2019 年から滋賀大学・帝国データバンク DEML（Data Engineering and Machine Learning Center）センターへ参画～

株式会社セゾン情報システムズ（本社：東京都港区、代表取締役 社長執行役員 CEO：葉山 誠、以下「セゾン情報システムズ」）は、2019 年から参画した滋賀大学・帝国データバンク Data Engineering and Machine Learning Center（以下、DEML）センターの支援状況を公表しました。

DEML センター開設後、在籍学生数は約 3 年間で延べ 44 名になり、当社提供による「DataSpider Servista（以下、DSS）」の研修は、同センター以外の学生も含め 50 名が受講しました。この中から 27 名がデータサイエンティストとして企業や団体に活躍しています。

当社は、長年のデータエンジニアリングで培ったノウハウを活かし、現場ですぐに役立つ技術教育の提供、DEML センター主催セミナーや勉強会等での講演、学生のインターン受入れ等を通じて、データサイエンティスト育成を目的に支援しています。

現在データサイエンティストとしてご活躍の滋賀大学卒業生 百瀬耕平氏およびデータサイエンス・AI イノベーション研究推進センター 特任講師 大里隆也博士に、データサイエンティストとしてのお仕事や状況の実際について伺いました。

動画：シススタ「データサイエンティストの先輩が登場！ 学生さんが知りたい、想像と現実のちがいは？」

https://www.youtube.com/watch?v=fKv9jO2vonE&argument=puzMv3na&dmai=sissta_mms202305

記事：企業・教育現場の第一線で活躍する人材が語る、データサイエンティストの“理想と現実”

https://www.hulft.com/hulft_square/case_15?pcode=prt

DEML センターでは、分析データをクレンジングする際に R や Python 等のプログラミング言語を使用していました。しかし、これらの習得には時間がかかり、肝心のクレンジングの考え方や理論の学習時間を圧迫するだけでなく開発した処理は属人化しやすいため、メンテナンスや再利用の障壁になる懸念がありました。

これらの課題を解決するため、当社が実践の場で培ってきたデータ クレンジング技術やノウハウ、ノーコード開発ツールである DSS を、DEML センターの学生や教員へ提供しています。DSS の活用によって、直感的操作やテンプレート化などで開発効率や処理の可読性が向上しかつ後輩への引継ぎなど運用にかかる工数も削減され、考え方や理論の学習により多くの時間を充てられるようになりました。

■DEML センターについて

DEML センターは、2019 年 7 月に国立大学法人滋賀大学と株式会社帝国データバンクが設立した共同研究センターで、ビッグデータの中で「設定した範囲で適切な値を見つけ出す」ことを目的に、企業活動により近い形でのデータサイエンスの教育・研究・実践の場として活動しています。

■セゾン情報システムズについて

「世界中のデータをつなぎ、誰もがデータを活用できる社会をつくる。」をミッションに、安全・安心の基盤となるデータ管理製品や IT サービス、および金融や流通業をはじめとする多種多様な業種向けのシステム開発・運用をグローバルに展開しています。長年にわたり環境の変化に即応してきた強みを活かし、現在はクラウド型データ連携プラットフォーム (iPaaS) 「HULFT Square」など先進事業の拡大に注力するほか、未来を切り拓くテクノロジーの実装に向けた取り組みを強化しています。

<https://home.saison.co.jp/>

<報道関係者様からのお問い合わせ先>

株式会社セゾン情報システムズ プロダクト広報担当：山本
TEL: 050-3189-2848 (直) PR@sis2.saison.co.jp (広報代表)

商標関連

- ・ 「HULFT」 「DataSpider Servista」 「HULFT DataCatalog」、その他関連製品名は、セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- ・ その他の会社名、製品名、サービス名等は、各社の登録商標または商標です。